

事業報告書
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人 英翔会
 ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
 ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 [主たる事務所の所在地 (登記上の法人所在地)]
兵庫県姫路市飯田三丁目95番地の1
 [従たる事務所の所在地]
兵庫県姫路市飯田三丁目219番地の1 (姫路愛和病院)
兵庫県姫路市飯田三丁目219番地の5 (あいわ居宅介護支援事業所)
兵庫県姫路市白浜町乙372番地1 (あいわ訪問看護ステーション)
 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和58年11月 8日
 (4) 設立登記年月日 昭和58年11月18日
 (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	妻鹿成治	姫路愛和病院・管理者 (院長)
理 事	阜 弘志	介護老人保健施設 愛和ケアホーム・管理者 (施設長)
同	高田直宏	
同	妻鹿麻美	
同	立花光夫	
同		
同		
監 事	合田幹孝	
同		
評 議 員		
同		
同		

- 注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
 2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)
 3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	姫路愛和病院	兵庫県姫路市飯田三丁目 219 番地 地の 1	一般病床 47 床 地域包括ケア病床 8 床 療養病床 53 床 [医療保険 53 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人 保健施設	愛和ケアホーム	兵庫県姫路市飯田三丁目 95 番 地の 1	入所定員 77 名 通所定員 40 名
介護医療 院			入所定員 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
あいわ訪問看護ステーション	兵庫県姫路市白浜町乙 372 番地 1	
あいわ居宅介護支援事業所	兵庫県姫路市飯田三丁目 219 番 地の 5	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

会議名			議決又は同意事項
令和4年	5月31日	社員総会	2021年度法人業績（決算）について 社員の變更について 2022年度の借入限度額について 役員報酬について
令和4年	9月2日	社員総会	児童発達支援事業所の開業について
令和4年	12月26日	社員総会	社会医療法人への移行を段階的に進める件 持分なし医療法人への移行計画の認定申請の件
令和5年	2月6日	社員総会	(有)愛和ヒューマンケアの訪問介護事業部門の譲り受けについて 放課後等ディサービスの開業について 社員の退社および理事の辞任について 定款の一部追加および變更について 各種規程の制定について
令和5年	3月30日	社員総会	2022年度 法人業績について（2月までの実績及び最終見込み） 2023年度 事業計画（案）について 定款の一部追加について 就業規則の一部追加について

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和5年	2月27日	あいわ訪問介護ステーション（定款變更の認可）
令和5年	2月27日	あいわ児童発達支援わかば（定款變更の認可）
令和5年	2月27日	あいわ放課後等デイあおば（定款變更の認可）

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和	5年	3月23日	移行計画認定申請についての認定
令和	年	月	日
令和	年	月	日

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式11-2

法人名 医療法人 英翔会

※医療法人整理番号 2-8094

所在地 兵庫県姫路市飯田三丁目9番地の1

財 産 目 録

(令和 5年 3月 31日現在)

1. 資 産 額	1,514,139 千円
2. 負 債 額	1,047,836 千円
3. 純 資 産 額	466,303 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	372,738
B 固 定 資 産	1,141,401
C 資 産 合 計 (A+B)	1,514,139
D 負 債 合 計	1,047,836
E 純 資 産 (C-D)	466,303

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人 芙蓉会

※医療法人整理番号 28094

所在地 兵庫県姫路市飯田三丁目9番地の1

貸 借 対 照 表

(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	372,738	I 流 動 負 債	220,722
現金及び預金	69,143	支払手形	
事業未収金	234,350	買掛金	
未収入金	50,633	短期借入金	160,268
たな卸資産	13,491	未払金	42,719
仮払金	20	未払費用	
前払費用	3,892	未払法人税等	5,885
繰延税金資産		未払消費税等	3,123
その他の流動資産	1,209	繰延税金負債	
II 固 定 資 産	1,141,401	前受金	
1 有 形 固 定 資 産	1,046,779	預り金	8,648
建物	630,019	前受収益	
構築物	4,242	〇〇引当金	
医療用器械備品	58,999	その他の流動負債	79
その他の器械備品	49,740	II 固 定 負 債	827,114
車両及び船舶	10,409	医療機関債	
土地	147,000	長期借入金	827,114
建設仮勘定	143,770	繰延税金負債	
その他の有形固定資産	2,600	〇〇引当金	
2 無 形 固 定 資 産	78,662	その他の固定負債	
地上権	75,633	負債合計	1,047,836
ソフトウェア	1,630	純資産の部	
その他の無形固定資産	1,399	科 目	金 額
3 その他の資産	15,959	I 出 資 金	733,100
敷金	2,708	II 積 立 金	
長期貸付金		代替基金	
保有医療機関債		〇〇積立金	
その他長期貸付金		繰越利益積立金	△ 266,797
出資金	855	III 評価・換算差額等	
長期前払費用	4,125	その他有価証券評価差額金	
繰延税金資産		繰延ヘッジ損益	
その他の固定資産	8,271	純資産合計	466,303
資産合計	1,514,139	負債・純資産合計	1,514,139

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人 英翔会

※医療法人整理番号 28094

所在地 兵庫県姫路市飯田三丁目95番地の1

損 益 計 算 書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		1,772,386
2 事業費用		1,739,507
(1)事業費	1,739,507	
(2)本部費	0	
本来業務事業利益		32,879
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		57,824
2 事業費用		52,746
附帯業務事業利益		5,078
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業利益		37,957
II 事業外収益		
受取利息	41	
その他の事業外収益	56,820	56,861
III 事業外費用		
支払利息	3,527	
その他の事業外費用	4,283	7,810
経常利益		87,008
IV 特別利益		
固定資産売却益	739	
その他の特別利益	806	1,545
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期純利益		88,553
法人税・住民税及び事業税		13,636
法人税等調整額		0
当期純利益		74,917

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 医療法人 美 翔 会
所在地 兵庫県姫路市飯田3丁目95番1号

※医療法人整理番号 28094

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内 容	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1 関係事業者ごとに記載すること。
2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
近親者である場合には続柄を記載する。
3 次に定める取引については上記の注記を要しない。
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて
取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人芙蓉会

理事長 妻鹿 成治 様

私は、医療法人芙蓉会の令和4年会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はありません。

令和5年 5月16日

医療法人芙蓉会

監事 合田 幹孝

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。